

## Press Release

2026年2月吉日  
公益財団法人日本オペラ振興会 <https://www.jof.or.jp>

彼女は歌い続けた——  
愛と芸術の狭間で。

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

日本オペラ振興会総監督 郡 愛子  
公演監督 家田紀子  
副公演監督 森山京子

日本オペラ協会公演  
渡辺俊幸作曲 大石みちこ原作・脚本

### 「奇跡のプリマ・ドンナ -オペラ歌手・三浦環の「声」を求めて-」

オペラ全2幕 (字幕付き原語 (日本語) 上演)



2026年3月7日(土)・8日(日) 14:00 開演  
新宿文化センター 大ホール

【開場 13:00】 \* 13:30 から会場内にて作品解説をいたします。 ※上演時間：約3時間 (休憩含む)

- 主催：公益財団法人日本オペラ振興会  
公益財団法人日本演奏連盟 都民音楽フェスティバル主催：東京都／公益財団法人東京都歴史文化財団
- 共催：公益財団法人新宿未来創造財団
- 助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)） | 独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援：山中湖村、山中湖村教育委員会、一般社団法人 山中湖観光協会、袋井市教育委員会、袋井市観光協会、袋井商工会議所

本公演に関するお問い合わせ、および取材のお申込み

公益財団法人日本オペラ振興会 広報担当：外山・堀内

〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川 76-1

Tel: 044-819-5505 / E-mail: [press@jof.or.jp](mailto:press@jof.or.jp)

愛か、芸術か——  
美しさに満ちた旋律が心を揺さぶる

「あなたは世界にたった一人しかいない、最も理想的な蝶々さんです」 ジャコモ・プッチーニ

「利家とまつ」「毛利就」など、NHK大河ドラマで数々の名曲を書き上げている渡辺俊幸と、映画「ゲゲゲの女房」をはじめ多くの名作を残す大石みちこのタッグで新制作され、日本オペラを知り尽くす田中祐子の指揮と、脚本を最大限に引き出す岩田達宗の演出で臨む、日本オペラ協会渾身の世界初演オペラ。

世界を魅了した日本人初のプリマ・ドンナ三浦環の数奇な人生を描く本作を、佐藤美枝子、相楽和子をはじめ、最高のキャスティングでお贈りします。

### 〈ものがたり〉

明治の東京。母・とわのおなかに声を忘れてきたかのように、産声を上げずに生まれた環（たまき）だったが、両親に愛され、やがて美しい歌声を持つ娘へと成長した。

### 第一幕

父・熊太郎は、娘の将来を良縁に託そうとしていた。しかし環は、父との不仲から離縁されたとわの姿をまのあたりにし、仕事をもち母を助けようと決心する。恩師・高木チカに歌の才能を見出され、環は東京音楽学校への進学を希望するが、熊太郎は「歌など遊びごと」と猛反対。環は熊太郎が選んだ相手と結婚することを条件に進学の機会を掴む。

校則では結婚は禁じられていた。既婚であることを隠し、環は音楽学校では、昭憲皇太后の御前演奏、奏楽堂での歌劇オルフォイスの百合姫（エウリディーチェ）役など才能を発揮する。一方、幼なじみの政太郎は密かに環への想いをつのらせていたが、内祝言を上げたことを知り愕然とする。

そんな中、夫の転勤が決まるが、環は同伴ではなく離婚を選ぶ。それは、女性でありながら歌で生きていくという強い決意の表れだった。

離婚した後、とわの家に身を寄せていた環の元に再び政太郎が現れ、かつて果たせなかった想いを告げる。熊太郎に会い「僕は音楽家の環さんを尊敬しています。芸術家は社会の華です」と、結婚を申し込むのだった。環と政太郎はドイツへの留学の夢を語り合い、政太郎は資金を得るためシンガポールへと旅立つ。

日本に残った環の前に、野心に満ちた新聞記者・安井が現れる。自らが環と政太郎を結びつけたのだと言い、環に対して不穏な圧力をかけてくる。舞台に立ち続ける環は、名声の陰で精神的に追い詰められていく。とわの機転により安井の魔の手から逃れた環を乗せた船は、政太郎の待つシンガポールへ向けて船出する。

### 第二幕

ロンドン。環が主演をつとめるオペラ《蝶々夫人》の舞台が開演しようとしていた。客席には、開演を前に震えている作曲家ジャコモ・プッチーニの姿があった。彼は苦悶していた。日本に行ったこともなく、これまでの作品と同様、追い詰められる女を描いてしまった。パリで上演されたいがために、原作を変えてしまった。偽りの蝶々夫人を描いてしまったのではないかと――

楽屋では、身支度を助けるお雪に環は、かつて安井という新聞記者から逃げて、日本から旅立ったが、いまだに追われている気がしてならないと不安を口にする。

旅芸人として各地を旅してきたお雪は人づてに安井の行方を知っていた。環の心の曇りは消え、晴れやかな心

持ちでマダム・バタフライの世界へ旅立つ。

しかし、空襲警報が鳴り響き、上演は中断。舞台を諦めきれず、逃げ遅れそうになる環を「今は生きることが大切」と、政太郎が諭し救い出す。

環と政太郎はアメリカへと渡り、プリマ・ドンナとして環は名声を高めていく。

その陰で、政太郎は「プリマ・ドンナの鞆持ち」と呼ばれるようになっていた。日本に戻り緑茶の研究に専念することを決意した政太郎は環の元を離れていく。アメリカに残り歌い続けることになった環は、政太郎の研究が認められたときには、日本に戻ってお祝いしましょう、と約束する。

環はイタリアのプッチーニ邸に招かれる。そして、オペラ《蝶々夫人》を歌う時はいつも、作曲家であるあなたへ歌を捧げているのだと、あなたは私の神なのだと言語。プッチーニは「私は弱い人間だ、神ではない」と答え、環は困惑するが、互いに二人の間には歌があることに気づき、音楽で繋がる喜びを知るのだった。

ある日、環の元に一通の電報が届く。「マサタロウシス」——政太郎の急逝であった。環は悲しみに打ちひしがれながらも、祈りを歌に変えることで、彼の魂と共に生きていく道を選ぶ。

数年後。政太郎の墓前に立つ環に世間は「死者には歌は届かない」と冷笑するが、環は彼に語りかけ、歌い続ける。

時代は戦争の只中へ。環は「私はオペラ歌手、軍歌は歌いません」と毅然とした態度を貫く。そして、アメリカ人との恋に敗れた女が自ら命を断つ、オペラ《蝶々夫人》の上演は戦争が終わるまで封印する決意を固める。疎開先の湖畔の村で、とわは病に倒れ、環は介護に明け暮れる。とわは、最期に「生まれる時に、私のおなかの中に置き忘れた声を返そう」と語り、静かに旅立つ。

環は深い悲しみの中、病に臥すが、高木チカの言葉に導かれ、再び舞台へ戻る。批評家の「三浦環はもう終わった」という声が聞こえる一方で、観客たちは「もう一度、あの歌を」と願い、時空を超えてプッチーニの幻が現れ「蝶々夫人だけが歌ではない」と励ます。

戦争が終わり、環は歩んできた歌の道を振り返る。イギリス、アメリカ、ブラジル、アルゼンチン……歌は環の人生そのものだった。「戦争は終わった。再び、世界へ、明日へ」——環は声の一文字へ向かい、歩み始めるのだった。

## ●チケット好評発売中！

S席 ¥20,000 A席 ¥17,000 B席 ¥14,000 C席 ¥8,000 D席 ¥3,000 (税込)

- ・青春割引：B席～D席を2,000円(25歳以下/枚数限定)
- ・ヤング・フレッシュマンチケット：S席・A席を半額(25歳以下/枚数限定)
- ・障がい者割引：S席～B席を20%割引(要お問い合わせ/枚数限定)

## ●お問い合わせ・予約

日本オペラ振興会チケットセンター 044-819-5550 (平日 10:00～18:00)

【座席選択可・PC&スマートフォン】<https://p-ticket.jp/ticket/show/tamaki/schedule>

## 〈主要キャスト・スタッフプロフィール〉

### 指揮 田中祐子

Yuko TANAKA

平成30年度（第29回）五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。受賞に伴い2019年渡仏。2020年度ロームミュージックファンデーション奨学生。パリにて更なる研鑽と演奏活動を継続する。東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。2012年より渡独し主にベルリンとミュンヘンにて研鑽を積む。東京国際コンクール「指揮」入選、ブザンソン国際指揮者コンクール、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。2013年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。これまでに、全国各地のオーケストラと共演を重ねる。日生劇場、東京室内歌劇場、日本オペラ振興会等都内のオペラ団体にて副指揮、プロンプターとしてオペラ研鑽を積み、2015年藤原歌劇団公演「ラ・トラヴィアータ」でオペラデビュー、2017年日本オペラ協会公演「よさこい節」（於：新国立劇場）、2018年名古屋二期会公演「ちゃんちき」、2019年日本オペラ協会創立60周年記念公演「静と義経」、2023年藤原歌劇団公演「二人のフォスカリ」、2024年日本オペラ協会公演「ニングル」に登壇するなど、オペラ指揮者としても着実に実績を挙げている。2015-16-17年シーズンNHK交響楽団首席指揮者P.ヤルヴィ公式アシスタント。その間、同団においてC.デュトワ、C.エッセンバッハ、M.ヤノフスキをはじめ数々の公演のアシスタントおよび合唱指揮を担当。チョン・ミョンフン指揮東京フィル公演の合唱指揮も担当した。2018年～2020年オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。NHK-Eテレ「らららクラシック」やNHK-FM「名曲アルバム」、日テレ「読響シンフォニックライブ」、テレ朝「題名のない音楽会」等、メディア出演多数。



### 演出 岩田達宗

Tatsuji IWATA

東京外国語大学フランス語学科卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団ザ・スタッフに参加し、オペラの舞台製作にかかわる。1991年より栗山昌良氏に演出助手として師事。五島記念文化財団奨学生として1998年より欧州各地で研鑽を積む。帰国後、本格的に演出家として活動を始め、新古典主義の作品から現代の日本オペラまで数多くの公演で高い評価を得る。藤原歌劇団では2007年「ラ・ボエーム」で初演以降「ラ・ジョコンダ」「ルチア」「夢遊病の女」「ラ・トラヴィアータ」「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」「ジャンニ・スキッキ」を手掛け、日本オペラ協会では2001年「キジムナー時を翔ける」でデビュー以降「葵上」「美女と野獣」「天守物語」「よさこい節」「夕鶴」「魅惑の美女はでデスゴッデス!(死神)」「源氏物語」「ニングル」等、独創的で卓抜なアイデアによる舞台造りは聴衆を魅了し続けている。リモートによる講義「岩田達宗道場」が開講されるなど、現在日本を代表するオペラ演出家の一人である。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。06年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。



大阪音楽大学特任教授。武蔵野音楽大学特任教授。兵庫県出身。

## 三浦環役 (3/7) 佐藤美枝子

Mieko SATO

武蔵野音楽大学卒業。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第9期生修了後、ローマに留学。1997～99年五島記念文化財団の奨学生として引き続きローマで研鑽を積む。大分県高等学校音楽コンクールをはじめとする数々のコンクールに入賞。第30回日伊声楽コンクール第2位。第64回日本音楽コンクール声楽部門第1位、同時に増沢賞、海外派遣特別賞受賞。第11回チャイコフスキー国際音楽コンクール声楽部門第1位。1995年ローマにて「リゴレット」のジルダでデビュー。イタリアで研鑽の傍ら日本でも演奏活動を行い、1999年新国立劇場に「カルメン」のミカエラでデビュー。日本オペラ協会には、「美女と野獣」「天守物語」「春琴抄」「よさこい節」「夕鶴」「源氏物語」「ニングル」に出演し、いずれも好評を博している。藤原歌劇団には、2000年「ルチア」のタイトルロールでデビューを飾り、11年にも同役で絶賛を博した。その他、「カプレーティ家とモンテッキ家」「イタリアのトルコ人」「ラ・トラヴィアータ」「ランスへの旅」「ラ・ボエーム」「リゴレット」「カルメル会修道女の対話」「オリイ伯爵」「ドン・パスクワレ」「清教徒」などで常に絶賛を浴び、多数作品に出演している。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞、第9回出光音楽賞、第10回新日鐵音楽賞フレッシュアーティスト賞、第2回ロシア歌曲賞、第3回下総皖一音楽賞、第50回ENEOS音楽賞洋楽部門本賞受賞。



今後は、26年日本オペラ協会公演「天守物語」の富姫で出演を予定している。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。武蔵野音楽大学教授。大分県立芸術文化短期大学客員教授。大分県出身。

## 三浦環役 (3/8) 相楽和子

Kazuko SAGARA

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。卒業時に武岡賞、修了時に最優秀賞を受賞。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第37期生修了。育成部入所時に、立石信雄研究生奨学金を授与される。2019年度第4回日本オペラ振興会立石信雄海外研修奨学生、2020年度さわかみオペラ芸術振興財団として、2019年よりイタリア・ミラノに留学。オージモ市立オペラアカデミーで研鑽を積む。第29回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第3位。下原千恵子、B.フリットリの各氏に師事。2016年国立音楽大学大学院オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナでデビュー。2018年オペラ歌手育成部修了公演「フィガロの結婚」の伯爵夫人で高い評価を得た。日本オペラ協会には、20年「紅天女」タイトルロールのアンダースタディーを経て、21年「魅惑の美女はデスゴッデス！（死神）」のタイトルロール、2022年「咲く～もう一度、生まれ変わるために～」桜、2023年「源氏物語」紫上に出演し、いずれも高い評価を得ている。2024年には同協会公演「ニングル」のミクリで出演を予定している。留学中、イタリアにて多数コンサートに出演の他、日本国内でも、日本オペラ協会主催コンサート、2022年文化庁アートキャラバン事業「家族で楽しむ～神奈川フィル夏休みコンサート」に出演するなど、今後の活躍が注目されている新進ソプラノ。



日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。福島県出身。

## 三浦政太郎 (3/7) 渡辺 康

Yasushi WATANABE

国立音楽大学卒業。イタリア国立パルマ音楽院修了。2007年から10年間イタリアにて研鑽を積む。第1回カッファレリ国際オペラコンクール第3位、第47回イタリア声楽コンコルソにてテノール特賞受賞。ミスリヴェチェク作曲「オリンピアデ」のクリステネでボローニャ歌劇場にデビューし好評を博す。以降、マントヴァ・ビビエナ劇場「秘密の結婚」パオリーノ、アウディトリオ・デ・テネリフェにて「コジ・ファン・トゥッテ」フレランド、パルマ王立劇場「結婚手形」エドアルド・ミルフォート、ボローニャ歌劇場「ドン・パスクワレ」エルネスト、ルッカ及びピサ及びリヴォルノの各劇場で「メリー・ウィドー」カミーユ、マルティーナ・フランカのヴァッレ・ディトリア音楽祭「パッカナーリ」エルガスト等、ヨーロッパ各地の劇場で多数作品に出演し、どれも大成功を収めている。



日本オペラ協会には、「紅天女」「咲く～もう一度生まれ変わるために～」「ニングル」に出演。藤原歌劇団には、「ジャンニ・スキッキ」「コジ・ファン・トゥッテ」「ロメオとジュリエット」に出演し、いずれも高い評価を得ている。また、ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン 2022 にて、ロッシーニ「オテッロ」のドージェ/ゴンドラ乗りに出演している。その他、モーツァルト「レクイエム」、「大ミサ」、ベートーヴェン「第九」のテノールソロを務めるなど、今後の活動が大注目されている期待のテノール。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。新潟県出身。

## 三浦政太郎 (3/8) 海道弘昭

Hiroaki KAIDO

国立音楽大学卒業。2012年NPO事業によりイタリアへ2年間留学。どみそグループ専属歌手、NPO事業演奏研究員。2015年、サントリーホール等にて動員総数4,000名のデビューリサイタルを成功。TV番組「みんなの音楽会 TV」にレギュラー出演し、L.ヌッチら世界的歌手との対談や共演が話題を呼んだ。第46回イタリア声楽コンコルソ・シエナ大賞受賞。第1回V.テッラノーヴァ国際声楽コンコルソ優勝。日本オペラ協会には、2020年「紅天女」仏師・一真で大成功を収め、以降「キジムナー時を翔ける」マサキ、「ミスター・シンデレラ」伊集院正男、「源氏物語」頭中將、「ニングル」才三、「静と義経」義経で出演しており、高い評価を得ている。藤原歌劇団には、「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ、「イル・カンピエッロ」ゾルゼート、「二人のフォスカリ」ヤコポ・フォスカリ、「ピーア・デ・トロメイ」ギーノ等で出演。キングレコード収録「ベルカントの女王」世界的ソプラノ歌手M.デヴィーアとの共演オペラアリア集を自身3枚目のCDとしてリリース。BS12 トゥエルビ「童謡コーラス♪名曲大合唱～今は一人で、みんなと歌えるその日まで～」(毎週：日曜夕方4時放送)にて、全国放送 BS番組のレギュラー出演で活躍の場を広げている。



今後は、27年藤原歌劇団公演「蝶々夫人」のピンカートンで出演を予定している。

日本オペラ協会会員。藤原歌劇団団員。埼玉県出身。

日本オペラ振興会総監督 郡 愛子  
公演監督 家田紀子  
副公演監督 森山京子

日本オペラ協会公演  
渡辺俊幸作曲／大石みちこ原作・脚本  
「奇跡のプリマ・ドンナ・オペラ歌手・三浦環の「声」を求めて-」  
オペラ全2幕(字幕付き原語(日本語)上演)

【公演日程】2026年3月7日(土)・8日(日) 14:00 開演

【会場】新宿文化センター 大ホール

【チケット料金】S ¥20,000 A ¥17,000 B ¥14,000 C ¥8,000 D ¥3,000 (税込)

日本オペラ振興会総監督	郡 愛子
General Artistic Director	Aiko KORI
公演監督	家田紀子
Production Artistic Director	Noriko IEDA
副公演監督	森山京子
Assistant Production Artistic Director	Kyoko MORIYAMA
指揮	田中祐子
Conductor	Yuko TANAKA
演出	岩田達宗
Stage Director	Tatsuji IWATA

三浦環	佐藤美枝子	相樂和子
Miura Tamaki	Mieko SATO	Kazuko SAGARA
三浦政太郎	渡辺 康	海道弘昭
Miura Masataro	Yasushi WATANABE	Hiroaki KAIDO
プッチーニ	須藤慎吾	村松恒矢
Puccini	Shingo SUDO	Koya MURAMATSU
登波	鳥木弥生	城守 香
Towa	Yayoi TORIKI	Kaori SHIROMORI
熊太郎	久保田真澄	山田大智
Kumataro	Masumi KUBOTA	Taichi YAMADA
安井	川久保博史	井出 司
Yasui	Hiroshi KAWAKUBO	Tsukasa IDE
高木チカ	沢崎恵美	長島由佳
Takagi Chika	Megumi SAWASAKI	Yuka NAGASHIMA
お雪	鈴木美也子	座間由恵
Oyuki	Miyako SUZUKI	Yoshie ZAMA

合唱 日本オペラ協会合唱団 Nihon Opera Kyokai Chorus Group  
管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 Kanagawa Philharmonic Orchestra

合唱指揮 山舘冬樹  
Chorus Master Fuyuki YAMADATE  
美術 松生紘子  
Scenery Designer Hiroko MATSUO  
衣裳 下斗米大輔  
Costume Designer Daisuke SHIMOTOMAI  
照明 稲葉直人  
Lighting Designer Naoto INABA  
舞台監督 伊藤 潤  
Stage Maneger Jun ITO  
副指揮 山舘冬樹、下村 景、小林雄太  
Assistant Conductor Fuyuki YAMADATE、Kei SHIMOMURA、Yuta KOBAYASHI  
演出助手 三浦奈綾  
Assistant Stage Director Naaya MIURA

公演特設サイト <https://www.jof.or.jp/performance/2603-primadonna>

【お問い合わせ・予約】

日本オペラ振興会チケットセンター 044-819-5550 (平日 10:00~18:00)

【チケット販売所】

- ・チケットぴあ：<https://t.pia.jp/> (Pコード：285-866)
- ・イープラス：<https://eplus.jp>
- ・ローソンチケット：<https://l-tike.com/> (Lコード：38108)
- ・teket：<https://teket.jp/9911/50219>
- ・新宿文化センター：窓口販売のみ